

# 共生力

HP : <http://www3.ocn.ne.jp/~koryu/>

Tel : 03-3222-4190 Fax : 03-3222-4199  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-9

第2太陽ビル 301

発行人 : 黒田文男

## 設立 20 周年記念シンポジウム

中国・韓国から 14 名が来日

東アジア教育大学を提唱 一権氏

国際意識が薄い日本人学生 一周氏

東アジアで人間の安全保障を 一荒木氏



2011 年 10 月 18 日、ホテルエドモントにおいて、公益財団法人日本中国国際教育交流協会設立 20 周年記念シンポジウムが開かれました。

この集会を祝賀して、中国教育国際交流協会（林佐平団長以下 3 名）、中国宋慶齡基金会教育代表団（喬健団長以下 10 名）が訪日しました。

集会は実行委員会を代表して、加藤良輔実行委員長から、過去は変えられないが、未来を変えることはできる。これからの方のためにも、そして不幸な歴史を繰り返さないためにも、未来を切り拓く新たな交流の歴史を創り上げていきたい、との挨拶がありました。

中国教育国際交流協会の林佐平副秘書長は、歴代協会のリーダーシップに敬意を表したい。故田中会長は、民間教育交流の先鞭をつけられ、グローバルな人材の育成などの教育の持つ課題に挑戦してこられた。今回の催しは、中・日・韓

3 力国の教育交流に大きな貢献をすることでしょう、と挨拶しました。

中国宋慶齡基金会の喬健副秘書長は、「私の一生は、子どもたちにささげている。事によっては、待つことがあるが、子どもの事業は待つことができません」との言葉を引用して、宋慶齡基金会と日本中国国際教育交流協会との連携の意義を強調しました。貴協会との連携は、国際友好や教育交流、貧しい地域を援助することなどの多くの意義をまとめて実施し、成功している模範的な例です。深い縁と友情に基づき、教育への愛情と誠意を互いの力として、両協会の協力がますます広がっていくことを心から信じています、と挨拶しました。

パネルディスカッションでは、『教育を中心とした国際協力』をテーマに、日本、中国、韓国の視点から東アジアの教育交流について意見を交換しました。パネラーには、韓国から權重東氏（韓国 ILO 協会会长・安東自由大学名誉総長）、中国から周牧之氏（東京経済大学教授・マサチューセッツ工科大学客員教授）、荒木重雄氏（社会環境学会会長・桜美林大学名誉教授）に参加いただき、コーディネーターは、初岡昌一郎氏（姫路獨協大学名誉教授・協会理事）にお願いしました。

（詳しくは年会報 18 号に掲載されます）

## これからの 20 年を展望して

### 祝賀レセプション



祝賀レセプションで黒田代表理事は、20 年後の交流を予見すれば、恐らく両国の国境の壁は今以上に低く、人々の繋がりは今より一層緊密になっていると思います。私たちには 20 年前から、人と人が信頼し、結んできた絆がありました。だからこそ今日の当協会の存在があります。明日からより絆を強くし、「互助、共助、互恵」の関係でありたいと願います、と挨拶しました。

会場には約 200 名の参加者の友情が溢れ、和気藹々の雰囲気に包まれて交流の花が開きました。来賓として、藤嶋信夫文科省国際統括官、



李春生中国大使館教育処一等書記官、中村謙日教組委員長からご挨拶をいただき、輿石東民主党幹事長・当協会顧問からはメッセージをいただきました。



フジ国際語学院の卒業生のゲスト出演による歌唱

# 充実の音楽研修 神奈川県平塚市で

## 中国宋慶齡基金会教育代表団



リコーダーや鍵盤ハーモニカを使っての実技研修（大原小学校で）

シンポジウムの翌日からは、本協会、加藤良輔理事（神奈川県教職員組合執行委員長）のご尽力により、神奈川県平塚市で、市教育研究所主催の音楽研修、教職員交流、などが 10 月 19 日、20 日の二日間にわたって行われ、宋慶齡基金会教育代表団のみなさんを交えて有意義な教育交流が行われました。



神奈川県庁で副知事と交歓

平塚市長と喬健団長

19 日、宋慶齡基金会教育代表団は、神奈川県庁、平塚市庁を訪問し、黒川雅夫県副知事、藤井良一県教育長、落合克宏市長、金子誠市教育長ほか、県や市の皆さんと懇談されたあと、午後 3 時から行われた平塚市教育研究所主催の研修会（会場 大原小学校）に参加しました。

代表団の皆さんには、それぞれ楽器を手に、合奏指導のポイントについて熱心に研修されていました。最後に、題材にした曲「TOMORROW」を参加された教職員全員と一緒に合奏しました。

夕方からの交流会では、昨年、神奈川から第 15 次訪中団派遣で易県を訪問した団員 7 人のほか、多くの教育関係者が参加されました。また、長く中国との民間交流を牽引してこられた河野洋平前衆議院議長も参加され、中国の教育事業に捧げた宋慶齡女史の理念や権力におもねることのない行動や活動に触れ、日本は教育で学ぶべきことも多い、お互いに学びあっていくことが大切であると、挨拶されました。

20 日は、研修会の講師を勤められた安部川真弓先生の勤務校、花水小学校を訪問し、音楽指導の参観、合唱・合奏指導の参観のあと、音楽指導の交流を行いました。

河北省易県の先生方からは、研修、授業参観への感謝の言葉と共に、小学校でどのような楽器を経験するのか、



河野洋平氏（左から 5 番目）と中国宋慶齡基金会教育代表団

合唱・合奏のほかにどのような指導をするのか、レベルの違いによってどのような指導をするのかなど、熱心な質問も多く出されました。安倍川先生には、中国語に訳した教材まで用意していただきました。また神奈川教職員組合からの記念品として、団員一人ひとりにリコーダーが手渡されました。ご準備いただいた関係の皆様に、協会からも厚く御礼申し上げます。

教育代表団のみなさんには、18 日のシンポジウム参加から 2 日間の研修とたいへんハードなスケジュールでしたが、団員の方からは、実りある研修になった、まだまだがんばりが足りないとと思ったとの感想をいただきました。協会からは、吉田業務執行理事が随行しました。

## 文科省を表敬訪問…中国教育国際交流協会代表団

10 月 19 日、中国教育国際交流協会代表団 3 名は文科省を表敬訪問し、藤嶋信夫国際統括官と懇談しました。藤嶋統括官は、代表団に対し、国際交流で大切なのは、人間の交流であると述べ、「先生方の交流は学者の交流を上まわるものです。」と協会との教育交流を評価しました。林団長は、北京での中国教育国際交流協会主催の海外留学生フェアなどの取り組みを紹介しました。統括官は、これからも中国側のニーズを伝えて欲しいと、応えました。黒田代表理事も同席し、和やかな雰囲気の中で訪問を終えました。

### 協会設立 20 周年記念訪日団のみなさん（敬称略）

中国宋慶齡基金会教育代表団（10 名）

団長 宋慶齡基金会副秘書長 喬健、団員 連絡部副部長 宋健 (Ms)、国際処副処長 劉穎 (Ms)、河北省易県教育局局長 許俊良、易県第二高級中学校長 肖鵬、易県教育局 張艷華 (Ms)、易県中学教師 梁振山、易県第二高級中学教師 馬金紅 (Ms)、易県実驗初級中学教師 張山林、易県第三小学校教師 趙翠芹 (Ms)

中国教育国際交流協会代表団（3 名）

団長 中国教育国際交流協会副秘書長 林佐平、団員 財政部部長 袁媛 (Ms)、総務部部長補佐 王忠蘭 (Ms)

### 訃報

協会顧問 西岡武夫氏 ご逝去

永年にわたり、協会顧問としてご尽力いただきました西岡武夫氏（参議院議長）が 2011 年 11 月 5 日、永眠されました。

生前のご厚情に感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。